

「東員の子 夏休みの宿題は」

イオンで学生有志「教室」開き支援

東員町在住の大学生でつくる有志グループが、小中学生向けに夏休みの宿題などの学習を手ほどきする教室を同町長深のイオンモール東員で開いている。大学生は「育ててもらった地元で子どもたちの学力の底上げに役立てれば」と話し、利用を呼びかけている。（諏訪慧）

コロナ対策 向かい合わずボード活用

有志グループは、愛知教育大 同学年で、同町の成人式で実行四年の松永朋樹さん（三）ら五 委員を務めた際に顔を合わせて人。五人のうち四年生の四人は 親しくなり、教室を企画した。



児童の勉強をサポートする松永さん（中）ら＝東員町長深のイオンモール東員で

いずれも学校教諭を志望しており、将来を見据えて子どもたちを教える経験を積む狙いもある。

教室は、イオンモール東員に会場を提供してもらい、二〇二一年三月に初めて実施した。小中学生の春休みや夏休みに合わせて開いており、三回目。今回は松永さんの母校の津田学園高校（桑名市）に呼びかけ、計二十人ほどの同校生徒も指導側として加わる。

初日の二十三日は保護者がモール内を買い回っているあいだに小学生が訪れ、割り算の筆算などを教えた。各学年に応じた問題集や筆記用具を用意しており、手ぶらでも参加可能。松永さんは「分かりやすい指導を心掛けている。気軽に立ち寄ってもらえたら」と話す。

教室はイオンモール東員二階のイオンホールで、二十六日を除く三十日までの午前十時～午後五時（正午～午後一時は昼休憩）。新型コロナウイルス感染症防止で、向かい合っの指導は控え、ホワイトボードを活用する。